令和７年度(2025) 坂東市立内野山小学校 グランドデザイン

本県の教育目標・いばらき教育プラン・生徒指導提要
学校教育指導方針・ばんどう未来ビジョン
坂東市学校教育の基本方針・坂東市５つの約束

【目指す学校像】
今日が楽しく　明日が楽しみな学校

【目指す教師の姿】
子どもの心に寄り添い、子供の願いの実現に全力で当たろうとする教師

【内野山小　いじめ０宣言】
1　体や心をきずつけることはしません。
2　「だいじょうぶ」と声をかけます。
3　「知らんぷり」を見たら、声をかけます。
4　だれの話でも、やさしい心で聴きます。
5　友達をきずつけてしまったら、「ごめんなさい」とあやまります。

【教育目標】自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

【組織目標】主体的な学びを創り出す教育活動の推進

【経営の重点】

1　授業づくり：「子ども主体」の学びから、学びが深まる授業を創る。
2　学級づくり：ピアサポートを基盤とした認め合い、支え合う仲間づくりから、居場所のある学級を創る。
3　学校づくり：地域の方とのふれあいを通して、ふるさとへの愛着心と共生の心を育むとともに、地域とともに歩む学校を創る。

承認・評価
改善・共有

【学校運営協議会】
「子どもは地域の宝」～地域ぐるみで子どもを育てる～
○学校経営・学校運営、教育活動への意見
○自己評価・学校関係者評価
○保護者・地域の特性・実態・願い

【内野山の子ども　１０のやくそく】
1　登下校は自分の目で安全を確認しよう。
2　友達や先生、地域の人に進んであいさつをしよう。
3　名前を呼ばれたら、「はい」と返事をしよう。
4　誰にでも「ありがとう」の感謝の言葉を言おう。
5　友達のことは「～さん」と呼ぼう。
6　清掃はだまってやろう。
7　休み時間はみんなで仲よく遊ぼう。
8　友達のよいところをたくさん見つけて紹介しよう。
9　授業中は一人一人の考えを大切にしよう。
10　困っている友達がいたら、進んで声をかけよう。

目指す児童の姿2　認め合い、支え合う子

誰もが安心して生活できる居場所づくり
・「あいさつ、返事、ありがとう」の定着
・「内野山の子ども１０のやくそく」の焦点化と必要に応じた見直し
・授業や生活における正しい聴き方や話し方の定着

認め合い、よさを発揮し合える仲間づくり
・「内野山いじめ０宣言」の日常化、人権感覚の醸成
・より主体性を高めた「ピアサポート学習会」「ピアサポートの実プロジェクト」の展開による絆づくり
・学校行事や各種活動による児童のリーダーシップの涵養

郷土を愛する心・共生の心の醸成
・「ふるさと坂東」「ふるさと内野山」への理解を促す校外学習
・地域一体となって作り上げる「天神社相撲大会」と「三世代交流のつどい」
・子ども発信のボランティア活動の活性化、家庭でのお手伝いの奨励

目指す児童の姿1　進んで学び、協働する子

「やってみたい」「できるようになりたい」と感じる授業づくり
・学ぶ意欲を引き出す子どもの問いを生かした学習課題の設定
・自分で考えたことを素直に話し合える言語活動の充実（うのトーク・振り返り）
・習得した概念や考え方を活用し、課題の解決を図る指導の充実

自分の考えを伝え、学びが深まる交流の場の充実
・学びや変容を自覚できる主体的な学びの推進
・子ども同士で試行錯誤しながら課題を追究する協働的な学びの場の構築
・市内外、海外の小学校とのオンライン交流及び遠隔合同授業の試行

小規模校の強みをいかした「居場所」ある学びの場の整備
・努力や意欲を積極的に見取り、適時行うフィードバックの改善
・特別支援教育の視点を取り入れた学習環境の工夫
・自他のよさを生かした役割分担で、全員が協力して実践する活動の充実

目指す児童の姿3　粘り強く取り組む子

目標に向かって最後まで取り組む体力づくり
・自己の目標を明確にした学習カードの工夫（六年間の継続活用）
・個人や学級の目標に向けた粘り強く体力向上を図る活動の充実
・子どもが気付いていない視点を具体的に提示し、運動の効果を確かめられる支援・助言の工夫

「命を守る」危機予測・回避能力の育成
・「しっかり睡眠＋毎日朝ごはん」の習慣化、ノーメディアデーの取組推進による健康管理能力の育成
・自然災害、感染症から身を守るためのスキルの習得、地域防災との連携
・命の大切さや性に関する学び、情報モラル等の学ぶ機会の充実

工夫して遊び・運動し、体力向上を図る児童の育成
・子ども主体の縦割り班遊びやクラス遊びの時間の計画運営（体育館開放、全員が外で遊ぶ日の設定）
・子どもの意欲や関心を引き出す運動の場づくり（ＩＣＴ機器の活用、自己決定の場、交流の工夫）

【主な数値目標】
「よくできた」の目標割合

■「やる気」をもって学習に取り組む（児童 60%）
■自分の考えを伝え、友達の考えを聞く（児童 60%）
■互いの良さに気付き、認め合って生活する（児童 70%）
■めあてを立てて最後まで頑張る（児童 70%）
■学校は積極的に情報発信をしている（保護者 60%）
■学力向上と授業改善に向けた研修の実践（教職員 90%）

【猿島中学校区「魅力ある学校づくり」】
「授業の中での人づくり」「居場所づくり」「絆づくり」
○どの子も居場所の持てる授業づくり
○ＩＣＴ等を活用した個別最適の学び
○規律（「学び」の約束・マナーのある学び）

【開かれた学校としての家庭・地域との連携】
・ＰＴＡ組織　・内野山分館　・氏子総代
・子ども会育成会　・シニアクラブ　・母の会
・内野山地区長会　・ぶんぶんクラブ
・厚生保護女性会　・猿島中学校区小中学校
・幼稚園　・認定こども園　・学校医　等

【「初期対応」の徹底を図る関係機関等との連携】
・市教育委員会　・坂東市こども発達センター「つくし」「にじ」
・市教育支援センター「ひばり」「ちゃのはな」　・各医療機関
・市訪問型家庭教育支援員　・境特別支援学校　・筑西児童相談所
・スクールカウンセラー　・スクールソーシャルワーカー
・スクールサポーター　・境警察署沓掛駐在所　等

信頼され、教職員にとって働きがいのある学校づくり・人財育成
○複式学級担任としての授業力・学級経営力の向上
○働き方改革の推進～教育活動の質の向上と重点化
○誰もがリーダーとなり、よさと経験を生かす場の創出
○ベクトルを揃え、一体となって取り組む職員体制
○服務規律の確保～勤務心得、「８つの約束」の順守